

同志社大学

2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年 2月 4日提出

所 属	職 名	氏 名
経済学部	教授	菅 一城
研 究 題 目	第一次世界大戦下の英国のロジスティクス：GKN 社と軍需省を中心に	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2013年度は、2012年度に引きつづいて、在外研究制度を利用して英国に滞在し、おもに以下の3点の研究活動を行った。</p> <p>① 上記の研究題目とは異なるが、英国での複数の研究者の勧めを受けて、以前の研究成果である英国の第二次世界大戦後のニュータウン政策について、近年の研究動向などを補ったうえで、都市計画関連書籍にも強い英国の総合学術出版社 Routledge に出版企画書を提出した。現在、結果を待っているところ。</p> <p>② 上記の研究題目については、これまでの研究成果とあわせて、英国の学術誌 Business History 誌に投稿した。現在、審査結果を待っているところ。</p> <p>③ さらに、上記の研究題目について、当初から予定していた The Glamorgan Archives で研究史料の収集をすすめたほか、The National Archives でも関連する史料を見つけることができた。現在、追加的な史料の収集をつづけながら、解読・分析をすすめているところであり、2014年以内に成果をまとめて発表できるものと考えている。</p>	